

令和 4 年度第 1 1 回庁議提案 審議・報告・その他

提出日：令和 4 年 8 月 3 0 日

担当部・課：保健福祉部子ども保育課〔内線 2 5 2 8〕

① 件 名
保育所等業務効率化推進事業の実施について
② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）
<p>【背景】 現在、保育ニーズの多様化により、通常保育のほかに障害児保育や延長保育等の特別保育事業を実施しているが、保育以外の業務が増加し、保育士の労働環境に課題がある。</p> <p>【目的】 保育所等における ICT 化を推進することにより、保育士が本来業務である保育に注力できる環境を整え、保育の質の確保及び向上を図る。</p>
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性
<p>【根拠法令】なし</p> <p>【〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け：有・無〕 又は 〔個別計画との整合性〕】 第 3 章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち 第 1 節 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実 3 子どもが安心して過ごせる環境を整備する</p>
④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）
令和 4 年 7 月 県より令和 4 年度保育対策総合支援事業費補助金交付要綱の送付 私立保育所等へ事業実施の確認
⑤ 主な内容
<p>■私立認可保育施設への補助</p> <p>1 保育所等における業務の ICT 化を行うためのシステムの導入 1 施設当たり 1, 0 0 0 千円（上限）</p> <p>2 通訳や翻訳のための機器の導入 1 施設当たり 1 5 0 千円（上限）</p> <p>※ 補助の内容については、保育対策総合支援事業費補助金交付要綱（厚生労働省）に基づく</p>
⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）
<p>【影響・効果】 保育所等における ICT 化を推進することにより、保育士が本来業務である保育に注力できる環境を整えることができ、保育の質の確保及び向上が図られるほか、保護者の利便性の向上及び負担軽減が図られる。</p> <p>【市財政への負担】 私立認可保育所等 1 2, 7 6 4 千円 小規模保育事業所 3, 9 4 1 千円 計 1 6, 7 0 5 千円</p> <p>（財源）国 1 / 2（保育対策総合支援事業費補助金） 市 1 / 2（うち 8 / 1 0 は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当）</p>

⑦ 他の自治体の政策との比較検討	
仙台市をはじめとする他自治体でも同様の事業を実施する予定	
⑧ 今後の予定及び施行予定年月日	
令和4年 9月	市議会第3回定例会に関係補正予算案について提案
10月	補助金交付要綱の制定
10月以降	補助金交付申請受付及び補助金交付開始
⑨ その他	
公立保育施設においても実施を予定し、市議会第3回定例会に、関係補正予算案について提案している。	